

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
生活支援サービス論	2	前期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(かげやま ゆうこ) 影山 優子	ユニプグループ、メール			

(英文科目名 Life Support Business)

授業の概要

「介護職員初任者研修」の資格取得に必要な介護に関する基礎知識、技術、考え方を学びます。この資格を取得することで、高齢者や障害者など、支援が必要な人の暮らしの基礎的なサポートができるようになります。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心に従って系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。高齢者介護や障害者支援を取り巻く諸課題について実践と理論の双方から体系的に学ぶなかで、他者に対するケアとは何か、人間の尊厳とは何かについて、考えを深めます。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	介護の実践については、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを説明できる
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	相手の特性に応じて、安全な方法で介護・支援を提供することができる
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	介護の基本は自立支援であることを理解したうえで、個別ニーズに応じた配慮ができる
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。	○	サービス産業の分野全般において高齢者・障害者に対するサービス提供の考え方について論じることができる

授業の方法・講義手法の概要

講義・演習(グループディスカッション、介護技術の実技)

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	オリエンテーション 多様なサービスの理解(介護保険外サービス)	事前学修:指定教科書第1章第1節の予習(90分) 事後学修:「この授業で学びたいことについて」レポートをまとめる(90分)
2	介護サービスの提供に至るまでの流れ	事前学修:指定教科書第1章第2節の予習(90分) 事後学修:教科書付属DVDを視聴し「介護職の職務」をまとめる(90分)
3	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	事前学修:指定教科書第6第1節の予習(90分) 事後学修:「身体的老化現象と日常生活への影響」についてまとめる(90分)
4	高齢者の疾病と日常生活の留意点	事前学修:指定教科書第6章第2節の予習(90分) 事後学修:「高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点」についてまとめる(90分)
5	介護職の職業倫理	事前学修:指定教科書第3章第1節、第2節の予習(90分) 事後学修:施設と在宅の違いについて具体的なサービスを挙げながらまとめる
6	介護職の安全	事前学修:指定教科書第3章第3節、第4節の予習(90分) 事後学修:「介護職自身の健康管理の方法」についてまとめる(90分)
7	介護保険制度のしくみの基礎的理解	事前学修:指定教科書第4章第1節の予習(90分) 事後学修:「介護保険制度の背景と目的」についてまとめる(90分)
8	訪問看護、リハビリテーション	事前学修:指定教科書第4章第2節の予習(90分) 事後学修:「リハビリテーションの理念と考え方」についてまとめる(90分)
9	障害者自立支援制度のしくみの基礎的理解	事前学修:指定教科書第4章第3節の予習(90分) 事後学修:「障害者福祉制度における障害の概念」についてまとめる(90分)
10	ICF、QOL	事前学修:指定教科書第2章第1節の予習(90分) 事後学修:「ノーマライゼーションの理念」についてまとめる(90分)
11	虐待防止・身体拘束	事前学修:指定教科書第2章第2節の予習(90分) 事後学修:「介護における自立」についてまとめる(90分)

12	介護予防	事前学修:指定教科書第2章第3節、第4節の予習(90分) 事後学修:「介護におけるリスクマネジメント」についてまとめる(90分)
13	コミュニケーションの技法	事前学修:指定教科書第5章第1節の予習(90分) 事後学修:「対人援助関係におけるコミュニケーションの意義」についてまとめる(90分)
14	利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際	事前学修:指定教科書第5章第2節の予習(90分) 事後学修:「介護における記録の意義」についてまとめる(90分)
15	障害の医学的側面、生活障害の基礎知識	事前学修:指定教科書第8章の予習 事後学修:「ICFの考え方」についてまとめる(90分)

成績評価の方法・基準

提出課題(30%)、期末試験(70%)により総合的に評価します

指定教科書

『介護職員初任者研修テキスト1 介護のしごとの基礎』中央法規出版 2018

参考文献等

履修上の留意点

介護職員初任者研修の資格取得のための科目です。事前エントリー者以外は履修できません。資格取得に必要な学習時間が定められているため、欠席した場合は理由を問わず補講を実施します。技術演習を行う回には動きやすい服装、靴を準備してください。

実務経験